

これで安心、賢い家づくり

究極の新10章

あなただけの家づくりを
成功させる情報が満載



はじめに

「家を建てようか」、「建て替えしようか」と思われたとき、一番最初に頭をかすめるのは何でしょうか。ほとんどの人はまずお金の心配です。「どの位出せば希望通りの家が出来るのだろうか?」。そして「どこへ頼んだらいい家が出来るだろうか?」また、「どこかにいいモデルハウスはないか?」など実物に近い家を見たくありません。

ところが、誰も「**果たして、新しい家に何年住むことができるだろうか?**」とまでは考えません。日本の住宅の平均寿命は、何と25年そこそこなのです。一生のローン（平均35年）を背負うのには、余りにも

短命なのです。ローンがあと10年間も残る一方で、家は再び建て替えなければなりません。これ、何かおかしくありませんか?

申し遅れましたが「欠陥住宅を造らない会」下呂支部・春日井支部の一木いちきと申します。弊社は昭和37年に岐阜県の下呂市で創業以来、「木材知識を活かした家づくり・自然素材にこだわった家づくり」を実践し、今日に至っている会社です。

話は変わりますが、10年以上前、「秋田県木造住宅」に代表されます欠陥住宅が社会問題になったことをご存知ですか。その後、この教訓から住宅品質確保促進法ができ、またより住宅の性能を高めるために、「性

能表示制度」ができ、さらに「シックハウス法」もできました。

しかし、制度ができてても欠陥住宅は根本的に解決をみないまま、あの「耐震偽造事件」が起きて、世間をアツと言わせました。まさか、まさかの連続でしたが、改めて欠陥住宅が社会問題になったのです。

そんな中、これから家を建て替える方や新築される方が「どこを信用すればいいの?」、「安心できる会社であるのかしら?」と言う不安は大きくなる一方です。このような悩みを抱えながらの業者選定や工法選定は辛く大変なことと思います。本当は胸を弾ませ、愉しさ一杯の気持ちで、完成後の新居での生活を夢見るはずなのですが。

家造りは、一生に一度か二度の大事業です。しかし、残念ながら日用品のように失敗による学習効果を発揮できるものではありません。素人が住宅のプロを相手に、問題のない家を造るのは至難のことと思います。また、言われるままに信用せざるを得ないのが現実です。

家づくりはいつまで経っても、「これで良し」とは行きません。しかし、「完璧に造る」を目指す心構えだけは、いつまでも持ち続け努力する会社で有りたいと考えております。

おっと、いけません。この小冊子は弊社のことではなく、あなたが「い

い家を手に入れる手引き書になれば」と考え、今住宅業界が抱えている問題を思いつくままに書いてみました。

ですから、これをお読みになって、「参考になった」と思われても弊社と打ち合わせする必要は一切ありません。住宅業界の仕組みをお分かりになり、泣きを見る方が一人でも減ってくれば、書いた甲斐があります。

また、お読みになられ、疑問や質問があれば何なりとご相談下さい。勿論、費用は一切無料です。話を聞いたからといって注文しなければならぬ義務もありません。ハウスメーカーのように、しつこく追いかけ

ることもありません。その点どうぞご安心ください。

前置きが長くなりましたが、目を凝らしてじっくりお読み下さい。